

今月の主な内容

- 2面: 法科大学院 開校に向け加速
- 5面: 震災特集2004
- 8面: タッチフト 学生5連覇逃す

神戸大学ニュースネット

NEWS NET

©神戸大学ニュースネット委員会 <http://www.kobe-u.com/newsnet/>
 関西学生報道連絡共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-21-9-502
 電話06-6307-1315 F A X 06-6307-1316 メール newsnet@kobe-u.com

月曜は704・エーの日。

from A

毎週月曜日発売 定価200円(税込)

1月号



氷河を越えてルオニイ峰登頂に挑む登山隊のメンバー(提供:神戸大学山岳部)

悪天候で登頂断念

東チベットの未踏峰 登山隊は無事に下山

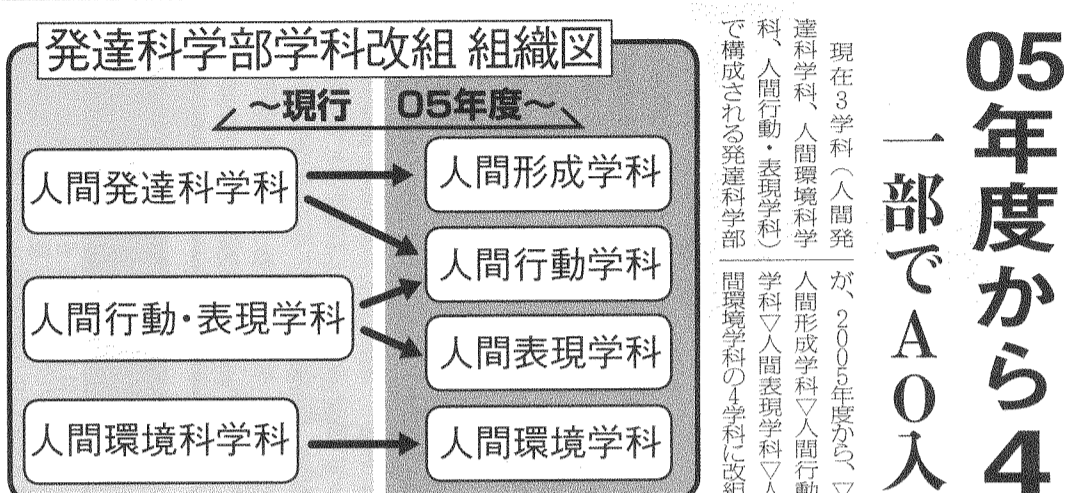
東チベットの未踏峰、ルオニイ峰(6600メートル)に登山隊は悪天候に悩まされ、登頂を目指していたが、悪天候に悩まされ、登山隊は無事に下山した。

ルオニイ峰は世界最後の秘境といわれる未踏峰。今までの登山隊は悪天候に悩まされ、登山隊は無事に下山した。

登山隊は11日にベースキャンプを設置し、23日には8000メートル地点に到達した。しかし悪天候に見舞われ、登山隊の一人が雪崩に巻き込まれるアクシデントもあった。これを受け、登山隊は無事に下山した。

登山隊は11日にベースキャンプを設置し、23日には8000メートル地点に到達した。しかし悪天候に見舞われ、登山隊の一人が雪崩に巻き込まれるアクシデントもあった。これを受け、登山隊は無事に下山した。

発達科学部 学科改組、個性化図る



05年度から4学科に

一部でAO入試導入も

現在3学科(人間発達科学科、人間環境科学科、人間行動・表現科学科)で構成される発達科学部が、2005年度から、4学科に改組される。一部でAO入試導入も行う。

発達科学部は1992年に、旧教育学部を母体として発足した。人間の発達とその環境を、文系・理系の別なく、様々な側面から教育・研究することが理念。創設から10年が過ぎ、学部内でも約3年前から組織の見直しが進められていたところ、4月からの国立大法人化を前に議論が加速した。目指したのはより「らしさ」の見える学部作り。現在、研究など各学科の中に設けられる講座(履修コース)単位で進められている。

講座は旧教育学部の流れをくむものが多く、新学部としての位置付けが分かりにくく、学生も困惑していた。しかし悪天候に見舞われ、登山隊の一人が雪崩に巻き込まれるアクシデントもあった。これを受け、登山隊は無事に下山した。

震災特集は5面

大学から震災の灯は消えたか

震災特集は5面。大学から震災の灯は消えたか。震災特集は5面。大学から震災の灯は消えたか。

震災特集は5面。大学から震災の灯は消えたか。震災特集は5面。大学から震災の灯は消えたか。

目線下げた援助を

緒方貞子さんが講演

目線下げた援助を。緒方貞子さんが講演。目線下げた援助を。緒方貞子さんが講演。

目線下げた援助を。緒方貞子さんが講演。目線下げた援助を。緒方貞子さんが講演。

国文で消防訓練

防災意識高め

国文で消防訓練。防災意識高め。国文で消防訓練。防災意識高め。

国文で消防訓練。防災意識高め。国文で消防訓練。防災意識高め。

ウェブ休講掲示が再開

サーバー侵入受け安全強化

ウェブ休講掲示が再開。サーバー侵入受け安全強化。ウェブ休講掲示が再開。サーバー侵入受け安全強化。

ウェブ休講掲示が再開。サーバー侵入受け安全強化。ウェブ休講掲示が再開。サーバー侵入受け安全強化。

神戸大 閉話

〜其の二十二〜

神戸大 閉話。〜其の二十二〜。神戸大 閉話。〜其の二十二〜。

神戸大 閉話。〜其の二十二〜。神戸大 閉話。〜其の二十二〜。

地域連携で街づくりを

長田区に震災研究拠点

フィールドスタジオ開設

地域連携で街づくりを。長田区に震災研究拠点。フィールドスタジオ開設。地域連携で街づくりを。長田区に震災研究拠点。フィールドスタジオ開設。

地域連携で街づくりを。長田区に震災研究拠点。フィールドスタジオ開設。地域連携で街づくりを。長田区に震災研究拠点。フィールドスタジオ開設。



学生らからの質問に真剣に答える緒方貞子さん(11月19日・神大会館六甲ホールで撮影=岩崎昂志)

医療事故に公表基準

神戸大は対応不変

医療事故に公表基準。神戸大は対応不変。医療事故に公表基準。神戸大は対応不変。

医療事故に公表基準。神戸大は対応不変。医療事故に公表基準。神戸大は対応不変。

伏流水

伏流水。神戸の夜景が好きた。大坂からの坂道を下りながら、ぼやりと夜景を見つめる。アウトドアのサークルに入り、冬、寒さに耐えながら、六甲山から夜景を眺めたのも今ではない思い出。楽しいとき、辛いとき、いつも神戸の夜景があった。なぜ、夜景が好きか。それは、夜景が単純に綺麗だけでなく、平和な街の家影だからかもしれない。行きたいの飲み屋のネオン、思いを抱き神戸に来た人を迎える駅前の街灯、夕食の支度で忙し団地の明かり。淡く輝く街の灯りに、人の暮らし、ぬくもりを感じる。阪神大震災は、神戸の街からその灯りを奪った。夜景は消え、墨を流したように暗闇が街をおおった。寒い冬の朝だった。時がたち、ぼりぼりとした灯りが戻っていた。今では震災前と変わらぬ夜景が見られるようになった。人もいる。だが、人びとの心に残るあの日の傷跡は癒えていない。大切な思い出を失った。大切な思い出を失った。大切な思い出を失った。

就職に勝つ! ライバルに差をつける!

朝日新聞

ASA 高羽

神戸市灘区土山町1-13
0120-084013

<http://www.asa-takahara.com> info@asa-takahara.com

大学から 震災の灯は 消えたか 特別版 消えたか

震災特集2004

6000人以上の命が一瞬にして失われた阪神・淡路大震災。学生をはじめ、多くの若い命も奪われた。9年という月日が流れた今、記憶は語り継がれているだろうか。あの揺れを経験した街、神戸で。当時の学生が過ごしていた大学で。

今回は、昨年5月から半年間全25回にわたり震災の語り継ぎについて検証した「緊急連載・大学から震災の灯は消えたか」の特別版として、連載では触れられなかった「震災を語り継がれる側」の人々に焦点をあて、「語り継ぐ側」と「語り継がれる側」の現状を探った。【震災取材班】

「緊急連載・大学から震災の灯は消えたか」

震災の語り継ぎに焦点

03年5月、神戸市中央区にある震災メモリアルセンター「1・17希望の灯り」の一部が、神戸市内の大学生に壊された。学生に悪意はなかったものの、「希望の灯り」の存在は知らなかった。いつの間にか薄れゆく記憶。神戸から、そして大学からも震災の灯(とも)しびは消えてしまったのだろうか。大学で、地域で、教育現場で、震災の記憶、体験がどのように語り継がれているのだろうか。そんな思いから本連載はスタートした。

連載ではボランティア・メディア・教育現場という3つの分野にわたって現在の「語り継ぎ」の現状を調査した。「ボランティア」では、被災地のNPO団体や、ボランティア活動する大学生。「語の継ぎ」として奮闘する人々を追った。メディアでは一般メディアはもちろん、被災地の学生新聞などを取材。被災していない人間が震災を伝えていくのかというジレンマを抱えながら震災を伝える人々もいた。そして「教育現場」では「語り継がれる側」で奮闘した。

※連載は、ホームページ <http://www.un-nnews.com/snsai/2003snsai/> でご覧いただけます。



破損した「希望の灯り」を修復する人々(5月17日・神戸市中央区東遊園地)

アンケート検証 語り継ぐ側、継がれる側

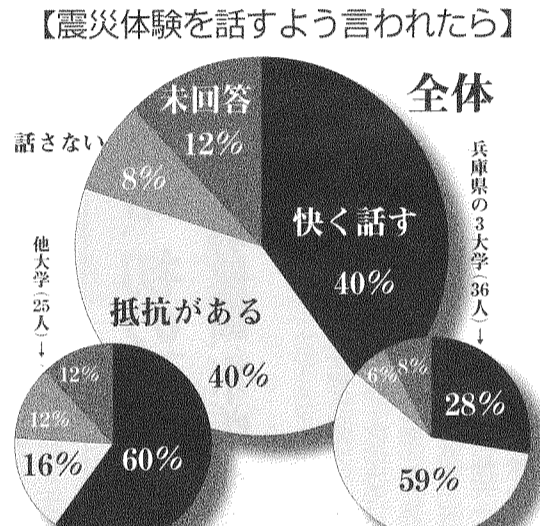
「話すことに抵抗」4割 語り継ぐ側の意図分かれる

UNN関西学生報道連盟で、昨年12月上旬に関西の11大学で震災に関するアンケートを実施した。神戸大(40%)、また5人(8%)が「兵庫県に在住し、被災した」と答えた61人中、「自分」の経験を話したことがある(40%)。と被災者の心境は、人は46人(75%)にのぼった。しかし「震災体験を話すよ」

「快く話す」と答えた人は、

「話さない」と回答。一方、被災地の大学と他大学で差はあるのだろうか。被災地にある神戸大、関学、神女院大では64人が回答した。そのうち、「被災した」人は36人。「自分の経験を話したことがある」は30人と80%を超えた。「抵抗がある」、「話さない」と震災のことを口にするのに否定的な人は23人(64%)にのぼった。

一方、他大学59人では被災した25人中、「快く話す」は、15人(60%)。「抵抗がある」は、4人(16%)。「話さない」は、3人(12%)と被災地の3大学とは割合が逆転した。

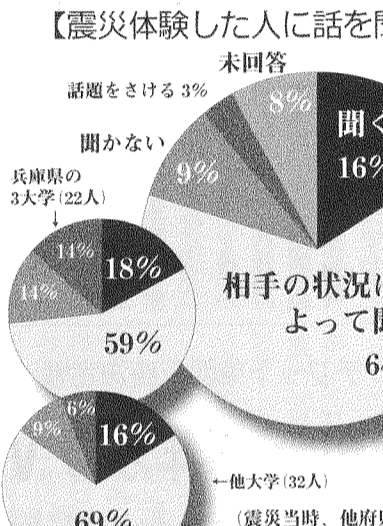


「聞く」に前向き8割 話し手の気持ち重視

震災を経験しなかった54人中、経験者から直接、震災から「聞く」、「相手の状況に」など被災体験を聞いたことがある人は16人(30%)にとどまった。44人(81%)に上り、そのうち「聞く」が64%にのぼった。

震災を経験しなかった54人中、経験者から直接、震災から「聞く」、「相手の状況に」など被災体験を聞いたことがある人は16人(30%)にとどまった。44人(81%)に上り、そのうち「聞く」が64%にのぼった。

「相手の状況によって聞く」が13人(59%)。「聞かない」が3人(14%)。他大学32人では「聞く」が5人(16%)。「相手の状況によって聞く」が22人(69%)と3大学よりも積極的に関心する割合が大きくなった。



対談 「震災を語り継ぐ」とは— まず『何を語るのか』考えて

一般の学生が実際に震災の語り継ぎについてどのようにとらえているのだろうか。「震災を経験し、伝える側」と「震災を経験せず、伝えられる側」…。この両者の間になにがあるのだろうか。震災を芦屋市で経験した川崎志歩さん(関学・4年)、震災当時関東にいた落合拓巳さん(神戸大・4年)に話してもらった。



【川崎志歩さん(関学・4年)】

「震災を経験した人の話は聞きた」と思っていますか。

落合「もし話してもらえたら、どんな人からでも聞きたいです。自分では体験していないので想像するのは難しい。実際に生身の人間から話を聞く方が影響を受けたいと思う」

—震災のことを聞かれることに抵抗は。

川崎「特にないです。高校生のとき、災害時を想定したボランティアを体験するというイベントに参加したのですが、そのときははっきりと災害に対する認識の甘さを実感しました。例えば、炊き出しをするにも全体的物資があらかじめ用意されておりました。でも実際、震災のときは水も食料もなかったんです。それは災害を体験した人にはわからないです。そういうことがあってから、できるだけ皆さんの人に自分の体験を伝えていきたい、と思うようになりました」

—実際に、震災の語り継ぎがあまりなされていないことについてはどう思われますか。

落合「聞く側、伝える側ともお互い気兼ねなく話してほしい。講演会や学校の授業、そういう場を設けることもできるけれど、できればそういうことをしなくても普通に話ができる環境にしたいですね。体験した人がそのとき何を考え、どう行動したか。そういうのを語ってもらえば、と思います」

—最後に「語り継ぎ」についてどう思われるかをお教えください。

落合「語り継ぎにはまず『何を語るのか』について考えてほしいです。その人が体験したことによって何が覚えてきたのか、何をどう伝えていくのか、それらに焦点を絞って語り継ぐべきだと思います。そして一番大切なのが震災があったから語り継ぐのではなく、そこにあるから見えるものを伝えていく、という気持ちの持ち方だと思っています」

川崎「最近ではメディアで震災は1月にしか報道されませんよね。私もそれを見て最初は『どうして1月だけにしか報道しないのだろうか』と不満に思っていました。でも報道で少しでも震災の話題が出ることに意味があるのではないかと、思うようになりました。ニュースを見て、一瞬でも震災のことを思い出す人がいる。それがとても大切なことなんです。そしてそのことをきっかけに被災した人間に直接話を聞いてくれれば、と思います」



【落合拓巳さん(神戸大・4年)】

学生5連覇ならず

聖和大との再戦で大敗 関西リーグは連覇死守

女子タッチフットの学生日本一を決める東西王座決定戦が11月23日、王子スタジアムで行われた。関西学生リーグで全勝優勝した神戸大は、1回戦を勝ち上がった決勝で再び聖和大と対戦。リーグ戦では勝利を収めていたが、14-28で敗れて全国学生5連覇はならなかった。

11月9日に行われたリーグ最終戦。守備が好調だった神戸大は、春季日本一の聖和大と互角に渡り合う。ミスから失点するも、終了1分前でスコアは14-20。ここで、普段はWRの池田がQBにポジションチェンジ。ボールを受け取った池田が30ヤードを走りきり、同点TD。TFPも決めて逆転した。

関西5連覇で出場した東西王座決定戦では、1回戦で成城大と対戦。相手の攻撃をITDに抑え、12-7で決勝へ駒を進める。聖和大との宿敵対決となった決勝、前半は聖和



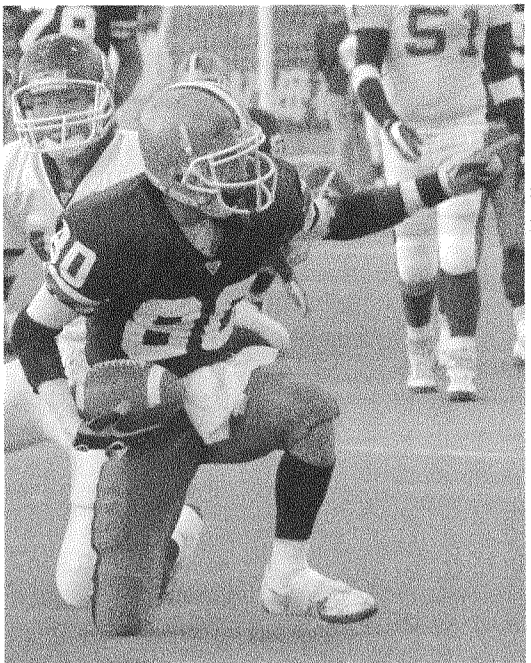
成城大戦第4Q相手攻撃のパスしたボールを奪うLB池田。同試合では3本のインターセプトを決めた(11月23日・王子スタジアムで撮影)山本航

タッチフット 東西王座

辛くも1部残留 入替戦、大院大を圧倒

関西学生アメフトの神戸大は11月30日の甲南大戦でリーグを終了。1勝7敗7位で12月13日の1部入替戦に出場したが、大院大には辛くも1部残留を決めた。

開幕4連敗で迎えた同大戦を1点差で落した神戸大



入替戦大院大戦 試合終了と同時にTDパスをキャッチしたWR立澤(12月13日・長居球技場で撮影)仲田千裕

は、関大にも6-41の完敗。最終戦を前に入替戦出場が決まりました。

しかし、11月30日に行われた最終戦では意地を見せる。甲南大を相手に準備のターンオーバーから流れを作ると20-0で快勝。矢野ヘッドコーチも「入替戦前に(勝つ)負けるとではまったと違つ」と今季初めて表情を緩めた。

そして迎えた入替戦では大院大を攻撃に圧倒。守備陣が6つのターンオーバーを奪うと攻撃陣も試合終了と同時にQB江端がWR立澤へのTDパスを決めるといふ離れ技を決め、40-0で1部残留を決めた。

最終戦と入替戦でやっと攻守がかみあい、なんとか1部に残留した神戸大だ



1部残留を決め、喜びを爆発させる岸主将(写真右)ら(11月22日・舞洲運動場で撮影)仲田千裕

が、前半戦は強豪校を苦しめたのも事実。「自分たちの力を出せば、どこにでも勝てる」と分かったと思ふことは岸主将の後輩へのメッセージ。来季は接戦を勝利に導けるか。

女子ラクロス 1部リーグ残留 延長の入替戦制す

関西学生ラクロスリーグ戦女子の神戸大(1部7位)は11月22日、神戸親和女大(2部総合2位)との1部入替戦に出場。神戸大は延長戦におよぶ接戦を7-16で制し、1部残留を決めた。

要所でボールがつかないまま、決め手を欠いた神戸大。AT福水、MD大野らの突破で切り込むも、なかなか決定打を放てない。混戦模様で延長戦Vゴール方式に突入すると、開始1分にAT武田がフリーシュートを決めた。

「9部なんか絶対嫌」。今季、1部復帰を果たしたばかりの神戸大。気持ちを奮い立たせて闘志を燃やした選手たちは笑顔で試合終了を迎えた。「嬉しい一言、ほっとしました」と岸主将も胸をなでおろしていた。

は愛内里菜のプロコンサークルで6000人の大観衆を集めた。予想されたコンサート終了後の混雑にも前年度の経験を生かし、「スムーズに帰ってらえ」と思つ」と実行委員長の藤村朗生さん(国文・3年)。

六甲祭 2003 4万2千人が来場 大きな混乱なく終了

11月8、9日に行なわれた六甲祭2003に4万2000人が訪れたことが分かった。六甲台キャンパスの工事の影響が懸念されたが、前年並みの来場者確保した。

文科省は11月27日、来春新設される法科大学院設置を申請した国公立大72校のうち66校の設置を正式に認可した。神戸大は予定通り定員100人で認められ、2月7、8日に2次試験実施を予定している。

未来

独立行政法人化②

組織見直しで備え

国立大学法人化の影響を受けるのは大学だけではなく、学生関係者をつなぐ存在の同窓会と生協にどうも一つの転換点になりそうだ。

神戸大の全学同窓会、学友会などは、各学部の同窓会をまとめたもの。数年前から、法人化による建物を無償で借りている。それが法人化で有償になるのではという危惧(ご)が、大学生協関係者にも広がっている。

指す「Lobby-rooms」計画。業「有償になれば商品の値上げ業務委託する株式会社を03年に」などで対応するしかない」と等設立し、プロバイター事業など、尾善専務。また、法人化3か月に取組む。ただ、現状では学月前の現在でも大学側に動きが生るの認知度は低い。学月ないため、04年からの有償化友会大阪クラブの石田雅明さんはいないと見られている。

「準備は出来た。連携して人脈を広げていきたい」と、法人化後の大学に期待する。

神戸大学ニュースネットってどんなところ?

「新聞サークルってどんなところだろう?」「いまいかなにをしているかわからない」「サークル自体は興味あるけど、どんな人が入るんだろう?」そんな人のために、現編集長が神戸大学ニュースネットを一通り余すことなく紹介!!

- 神戸大学ニュースネットってどんなところですか?
一言で言えば学生によるマスコミ。僕たちなりの視点から、大学や学生たちのニュースを伝えます。日々過ごしている大学には、色んな事件が話まっています。激動期を迎える大学の動きや、クラブ活動に汗を流す学生たち。その姿を、思いを、大学の「今」を、新聞やホームページで発信します。
- 将来、マスコミ系に行きたいんですが、ここでの活動は役に立ちますか?
人に話を聞いたり、文章を書いたり、パソコンで紙面を作ったり。本格的に新聞を作っているため、いろんな能力が身につくことは間違いなし。実際にマスコミに就職した先輩も多いです。
- サークル内の雰囲気はどんな感じですか?
他大学の学生たちと共同で活動しているので、大学の枠を飛び越えて色んな人たちが集まっています。みんなから刺激を受けつつも、「ワイワイ、ガヤガヤ」が日常です。
- まったくの初心者なんですが、ついていけるでしょうか?
必要なのはちょっとした好奇心と、あなた自身の感性だけ。経験は不問です。いまいる部員もみんなスタートは同じ。一緒に成長していける仲間たちです。

共同編集室で活動中の様子

サークル活動で編集、出版、マスコミを目指せるんだ!!

- ジャーナリスティックな感覚が磨ける
- マルチメディア・DTPに強くなれる
- フォトジャーナリズムの修行ができる
- 広告活動で就職活動を先取りできる
- 新聞社や出版社の人と仲良くなれる

新入部員募集中

文化・運動記者
デジタルクリエイター
カメラマン
広告部員
運営スタッフ

メール: info@unn-news.com
Web: http://www.unn-news.com
電話: 06-6307-1315
住所: 大阪市淀川区西中島3丁目21-9駅前ビル5F

UNNは関西の11大学が集まって新聞を発行している報道サークルです
NEWS NET UNN 関西学生報道連盟

現在、京都大学Expressが発刊準備中です。